

# 全国 過疎問題

## シンポジウム 2025 in とっとり

開催  
日程

令和7年 10/30 木 31 金

 [開催地] 鳥取市、智頭町、  
三朝町・湯梨浜町、  
大山町

 世代を超えて安心して  
住み続けられるふるさと

～自然・人・活力とともに～


 30 木  
全体会

会場／とりぎん文化会館梨花ホール

- ◆令和7年度過疎地域持続の発展優良事例表彰式
- ◆基調講演 講師 中塚 雅也氏 (神戸大学大学院農学研究科 教授)  
「次世代につなぐ人づくりとエコシステム」
- ◆パネルディスカッション  
「世代を超えて安心して住み続けられるふるさと  
～自然・人・活力とともに～」

交流会 会場／ホテルニューオータニ鳥取

 31 金  
分科会

- |                      |                          |
|----------------------|--------------------------|
| 第1分科会<br>智頭町         | 過疎地域持続の発展優良事例発表会<br>現地視察 |
| 第2分科会<br>大山町         | 過疎地域持続の発展優良事例発表会<br>現地視察 |
| 第3分科会<br>三朝町<br>湯梨浜町 | 現地視察                     |

開催の  
ご案内

# 全国 過疎 問題 シンポジウム 2025 in とっとり

30  
木

全体会

会場 とりぎん文化会館梨花ホール(鳥取市)

11:00 展示ブースオープン

12:00 受付開始

13:00 開会式 ●開会宣言 鳥取県地域振興対策協議会過疎地域振興部会長(日南町長)  
●主催者挨拶 総務大臣 (一社)全国過疎地域連盟会長  
●歓迎挨拶 鳥取県知事

13:20 令和7年度過疎地域持続的発展優良事例表彰式

13:50 休憩

14:05 基調講演  
「次世代につなぐ人づくりとエコシステム」  
講師 中塚 雅也氏 (神戸大学大学院農学研究科 教授)

15:00 休憩

15:10 パネルディスカッション  
「世代を超えて安心して住み続けられるふるさと～自然・人・活力とともに～」  
コーディネーター 筒井 一伸氏(鳥取大学地域学部教授)  
パネリスト 村尾 朋子氏(鳥取県智頭町:ゲストハウス「明日の家」オーナー)  
西山 恵氏(鳥取県大山町:大山公民館大山分館公民館主事)  
工藤 志保氏(山形県酒田市:日向コミュニティ振興会事務局長)  
矢嶋 澄香氏(山梨県丹波山村:丹波山村総務課副主査)

16:55 次期開催県紹介

17:00 閉会



## 大会趣旨

日本全体が人口減少社会を迎える中、特に過疎地域では人口減少や少子高齢化の進展による地域産業の衰退や生活基盤の弱体化、集落消滅の危機など、さまざまな課題に直面しています。

一方で、これらの地域は豊かな自然や農地・森林などを有し、水源の涵養、食料の生産、自然災害の防止などを通して、地域内のみならず、都市を含めた人々の生活や生産活動を支える公益的役割を担っています。

このことから、過疎地域のさまざまな取組について、更なる議論を深めるとともに、全国の優れた取組にふれ、参加者相互の交流を図るなど、人と人とのつながりを通じて将来に向けた取組を考える契機とするため「全国過疎問題シンポジウム2025 in とっとり」を開催します。

### ◎基調講演《講師》

なか つか まさ や

**中塚 雅也**氏（神戸大学大学院農学研究科 教授）

1973年生まれ。神戸大学農学部卒業。緑地計画コンサルタント、(財)丹波の森協会等にて地域づくり実務に携わりながら、2004年、神戸大学大学院自然科学研究科博士課程修了、博士(学術)。神戸大学助教、英国ニューカッスル大学農村経済センター客員研究員を経て、現在、神戸大学大学院農学研究科食料環境経済学講座（農業農村経営学研究室）教授。神戸大学地域連携推進本部 組織連携推進部門長および農学研究科地域連携センター長。専門は、農業農村経営学、農村計画学、農業経済学。



### ◎パネルディスカッション《コーディネーター》

つつ い かず のぶ

**筒井 一伸**氏（鳥取大学地域学部 教授）

1974年佐賀県生まれ、東京都育ち。島根大学法学部法学科卒業、大阪市立大学大学院文学研究科地理学専攻修了。愛知県北設楽郡豊根村役場で地域間交流支援専門研究員を勤めた後に2004年に鳥取大学に着任。博士(文学)。専門は農村地理学・地域経済論。過疎問題や農山村と都市の地域間関係のあり方を研究し、農山村での「継業」を提唱。『田園回帰がひらく新しい都市農山村関係』（2021年、ナカニシヤ出版）を主業績として2021年度農村計画学会賞を受賞。ベトナム農村の研究でもベトナム科学技術連合会賞受賞やフエ大学名誉教授着任などを経験し、ベトナムとの関わりも四半世紀を超える。



## ◎パネルディスカッション《パネリスト》

むら お とも こ  
**村尾 朋子氏**（鳥取県智頭町：ゲストハウス「明日の家」オーナー）

父の暮らしていた鳥取県智頭町へ“孫ターン”移住。築160年の空き家を改修し、ゲストハウス「明日の家」を開業。現在は、横浜と智頭町の2拠点で暮らしながら、WEB制作会社のマネジメントも兼務。都市と地域をつなぐ働き方・暮らし方を実践している。智頭町の女性起業家たちと共に立ち上げた「やどり木協議会」をはじめ、「明日のお米」プロジェクトや、手仕事の魅力を伝える「あしたとて」ワークショップなど、地域資源を活かした活動に取り組む。空き家再生や関係人口づくり、女性のしごと創出といった地域課題に、暮らしの延長にある自然なカタチで、地域と関わっている。



にし やま めぐみ  
**西山 恵氏**（鳥取県大山町：大山公民館大山分館公民館主事）

大山町出身。国産化粧品メーカーで7年間、主に関西で勤務。30歳のとき、結婚を機にUターンし大山町へ。現在は1児の母。2018年より公民館主事として地域に関わって7年目。地域自主組織「まちづくり大山」と連携・協働しながら大山地区の魅力を活かした事業を企画、実施中。また、「まちづくり大山・こどもの居場所・のびのび」にも主体的に関わり、子ども達が安心して過ごせる居場所づくりをお手伝いしている。住民の皆さんと顔を合わせながら、小さなアイデアから地域を元気にする取り組みに力を注いでおり、「楽しみながら地域と一緒に成長する」そんな思いで活動中。



く どう し お  
**工藤 志保氏**（山形県酒田市：日向コミュニティ振興会事務局長）

平成元年、出産を機に酒田市農業協同組合（Aコープオープンから勤務）を退職し4人の子育てに専念する。平成16年旧八幡町役場に臨時職員として採用され公民館に勤務後、日向公民館運営協議会を設立、事務局員となる。平成17年11月の大合併を経て、市の施策により公民館からコミュニティセンターへ移行するにあたり平成21年4月に日向コミュニティ振興会を設立しそのまま事務局員となる。平成21年3月に旧校舎を活用したコミュニティセンターの管理をしながら、地域づくりに携わり現在に至る。地域支え合い活動に取り組む中、令和元年7月にコミュニティセンターの玄関ホールをつながり合う集いの場として日向里かふえをオープンした。



や し ま す み か  
**矢嶋 澄香氏**（山梨県丹波山村：丹波山村総務課副主査）

丹波山村出身。中学卒業と同時に村を出て一人暮らしをしながら高校に通う。東京都内の大学を卒業後、山梨に戻り事務職を経て新聞記者として勤務したのち、ニュージーランドに留学。帰国後は、理化学研究所の広報室などで勤務。コロナ禍の出産を経て、2022年に約20年ぶりに丹波山村にUターンし、役場に就職。地域おこし協力隊をはじめとした移住促進事業を担当し、有志で発足した丹波山村移住定住推進協議会にも所属。宝島社『田舎暮らしの本』発表の「住みたい田舎ベストランキング」で2年連続1位を獲得するなど「住みたい村No.1」のPRに従事。現在は総務課で、職員採用、職員管理、人口減少対策、企業連携、ふるさと納税なども担当。



30  
木

## 交流会 会場 ホテルニューオータニ鳥取（鳥取市）

●交流会参加費が必要です（要事前予約／お一人様：6,000円）

鳥取の地酒や食材もご用意しています。  
皆様のご参加をお待ちしております。

17:30 受付開始  
18:00 開会～  
19:30 閉会



当日の天候や交通状況等により、行程は変更となる可能性があります。

8:00 「鳥取フコク生命駅前ビル」前(JR鳥取駅前南口)集合

8:15 「鳥取フコク生命駅前ビル」前(JR鳥取駅前南口)出発

9:10 会場受付開始

9:30 過疎地域持続的発展優良事例発表会(智頭町総合センター)

コーディネーター 法政大学現代福祉学部教授 図司 直也氏

1975年愛媛県生まれ。東京大学農学部を卒業し、東京大学大学院農学生命科学研究科農業・資源経済学専攻に学ぶ。2005年に同研究科博士課程を単位取得退学。博士(農学)。財団法人日本農業研究所研究員、法政大学現代福祉学部専任講師、准教授を経て、2016年より現職。国土交通省・国土審議会推進部会委員、総務省・過疎地域持続的発展優良事例表彰委員会委員長、(財)地域活性化センター・地域リーダー養成塾主任講師等を歴任。専門分野は、農山村政策論、地域資源管理論。主な著書は、『人口縮減・移動社会の地方自治』(令和6年、共著、有斐閣)、『農業基本法2.0から3.0へ』(令和5年、共著、筑波書房)、『「農村発イノベーション」を現場から読み解く』(令和5年、筑波書房)、『新しい地域をつくる』(令和4年、共著、岩波書店)、『プロセス重視の地方創生』(令和元年、共著、筑波書房)、『就村からなりわい就農へ』(平成31年、筑波書房)、『内発的農村発展論』(平成30年、共著、農林統計出版)ほか。



11:30 解散(午前のみ参加者は専用バスで鳥取駅・鳥取砂丘コナン空港へ)

11:40 昼食:智頭御膳(智頭町総合センター)

13:00 旧山形小学校(空き校舎利活用、日本1／0村おこし運動)

14:15 智頭宿(国指定重要文化財石谷家住宅見学、諏訪酒造周辺散策)

15:30 智頭町発

15:35 解散(智頭駅)

16:30 解散(鳥取駅)

16:50 解散(鳥取砂丘コナン空港)



石谷家住宅©鳥取県

## ◎優良事例発表団体

### 総務大臣賞

自治体	秋田県能代市(のしろし)
団体名	梅内聚落
活動概要	ニツ井町梅内地区は、唯一の市の公共施設であった子育て支援センターが遊休施設となった後、譲渡を受け、「梅内聚落コミュニティセンター」として整備し、同施設を拠点として地域課題の解決、森林や山菜などの豊富な地域資源の活用に取り組んでいる。

自治体	福岡県香春町(かわらまち)
団体名	採銅所地域コミュニティ協議会
活動概要	令和元年より地域で話し合いを重ね、地域有志によるコミュニティ協議会を設立した。協議会は、地域住民の意見を重視し、その意見を可視化した地域づくり計画(採銅所地域づくり夢プラン)の取組みに沿って、6つの部会が実施している。対話を重視した地域づくりを行っており、活動を進める中で今までになかった発想やアイデアを活かした取り組みも生まれている。

自治体	新潟県佐渡市(さどし)
団体名	UKUU(ユーケーユーユー)
活動概要	棚田の保全を中心に、新潟県や佐渡市と連携し都市との交流や棚田米の販売強化に取り組んでいる。なかでも、地域おこし協力隊や移住者が開業したレストランと連携し地産地消や新たな特産品の開発、大学などと連携したスマート農業にも活動の範囲を広げ、地域の新たな価値の創出に尽力している。

### 全国過疎地域連盟会長賞

自治体	岐阜県白川町(しらかわちょう)
団体名	白川ワークドット協同組合
活動概要	白川町の地域活性化を目的に令和4年2月に設立され、特定地域づくり事業とふるさとワーキングホリデー、地域人材育成事業などを展開し、地域内の雇用創出と移住定住促進、若者のキャリア形成をサポートしている。町内企業や中学校とも連携し地域の活力を面的に支え、地域の活性化に寄与している。



当日の天候や交通状況等により、行程は変更となる可能性があります。

7:45 「鳥取フコク生命駅前ビル」前(JR鳥取駅前南口)集合

8:00 「鳥取フコク生命駅前ビル」前(JR鳥取駅前南口)出発

9:30 会場受付開始

9:50 過疎地域持続的発展優良事例発表会(大山農村環境改善センター)

コーディネーター さんそデザイン共同代表／近畿大学総合社会学部講師 **野田 満** 氏

1985年神戸市生。早稲田大学大学院創造理工学研究科修了。博士(工学)。島根県中山間地域研究センター、福井大学産学官連携本部、東京都立大学(旧:首都大学東京)を経て現職。専門は農村計画、地域デザイン。故郷である淡路島と大阪の二地域居住を通じた地域づくりの研究、実践及び教育に従事。その他兵庫県洲本市地域おこしマイスター、兵庫県地域再生アドバイザー等を歴任。2021年にさんそデザイン設立、ものづくりと教育のアップデートに向けた事業にも挑戦中。著書に「はじめてのまちづくり学」(共著2021)他、受賞に日本建築学会教育賞(2024)、同学会奨励賞(2017)他多数、作品に「表現万博」(2024)等。



11:50 解散(午前のみ参加者は専用バスで鳥取駅・鳥取砂丘コナン空港へ)

12:00 昼食:大山おこわ定食(大山青年の家)

13:00 ナショナルパークセンター(日本遺産と大山参道の地方創生推進交付金等活用事例紹介)

14:00 大山参道(地方創生推進交付金等活用事例紹介)～大山寺散策

15:30 大山町発

17:00 解散(鳥取駅)

17:20 解散(鳥取砂丘コナン空港)



大山参道©鳥取県

## ◎優良事例発表団体

### 総務大臣賞

自治体	鳥取県湯梨浜町(ゆりはまちょう)
団体名	松崎地区伝統市「三八市」実行委員会
活動概要	地元の女性達を中心となり、廃れてしまった地元伝統市の復活をはじめ、地域おこしイベントや誰でも気軽に集まれるカフェ(居場所)づくりなど、地域の課題に寄り添いながら、パワフルに、自らも楽しみながら取組を広げている。カフェでは移住者をサポートし、人と人との繋がりを作り、地域活性化に寄与している。

自治体	鳥取県大山町(だいせんちょう)
団体名	地域自主組織まちづくり大山
活動概要	長期休業中(春・夏・冬)の小学生が、自主的な学びや遊び、大人等との交流ができるよう安心・安全な居場所を作ることで、子ども達の地域での育ちと愛着を育み、運営を支える住民ボランティアの体制構築による子育て環境の向上を行っている。また、地域医療について、この地域に所在する診療所の医師や鳥取大学医学部の先生と学生、地域住民等みんなで対話を行う場を作り、地域医療の継続と理想の実現について相互の関係を築きながら、安心して住み続けることができる地域づくりに取り組んでいる。

### 全国過疎地域連盟会長賞

自治体	秋田県仙北市(せんぼくし)
団体名	がっこの学校いぶりがっこう
活動概要	「子どもに安全なものを食べさせたい。だったら自分たちで作ればいい!」と、いぶりがっこ作りがスタートした。SNSでその様子の発信を続けると、共感を得て参加者が増え、全国から参加者が集まっていき、住民も巻き込んだ活動は過疎地域へ新たな風を吹き込んでいる。

自治体	山口県美祢市(みねし)
団体名	一般社団法人ドリームレッド
活動概要	地域自らが策定した将来計画「赤郷夢プラン」の実現を目指し、スクールバスやデマンドバスの運行、特産品の開発・販売など、地域運営に経営の視点を取り入れ、地域資源を活用した収益事業を行うとともに、地域の課題解決につながる生活サービス事業を複合的に行いながら、地域に好循環を生み出す持続可能な地域づくりに向けた様々な取組を段階的かつ計画的に実行している。

当日の天候や交通状況等により、行程は変更となる可能性があります。

- 8:15 「鳥取フコク生命駅前ビル」前(JR鳥取駅前南口)集合
- 8:30 「鳥取フコク生命駅前ビル」前(JR鳥取駅前南口)出発
- 9:40 三徳山遥拝所(日本遺産による官民連携)
- 10:25 三朝温泉街(交流・関係人口創出など)
- 11:55 昼食:三朝御膳(三朝町総合文化ホール)
- 13:00 三朝町発
- 13:30 松崎地区(三八市、地域活性化団体等紹介)  
多世代交流センターゆるりん館(地方創生推進交付金活用事例紹介)等
- 15:00 さくら工芸品工房(廃校舎を活用した文化拠点施設紹介)
- 15:40 湯梨浜町発
- 16:30 解散(鳥取駅)
- 17:00 解散(鳥取砂丘コナン空港)



三徳山©鳥取県

当日の天候や交通状況等により、行程は変更となる可能性があります。

- 8:15 「鳥取フコク生命駅前ビル」前(JR鳥取駅前南口)集合
- 8:30 「鳥取フコク生命駅前ビル」前(JR鳥取駅前南口)出発
- 9:30 松崎地区(三八市、地域活性化団体等紹介)  
多世代交流センターゆるりん館(地方創生推進交付金活用事例紹介)等
- 11:00 さくら工芸品工房(廃校舎を活用した文化拠点施設紹介)
- 11:40 昼食:和風膳(国民宿舎水明荘)
- 12:45 湯梨浜町発
- 13:15 三徳山遥拝所(日本遺産による官民連携)
- 14:00 三朝温泉街(交流・関係人口創出など)
- 15:20 三朝町発
- 16:30 解散(鳥取駅)
- 17:00 解散(鳥取砂丘コナン空港)



東郷湖(松崎地区)©鳥取県

## 交流会会場への移動案内

全体会終了後、楽屋口(駐車場側出入口)から交流会会場「ホテルニューオータニ鳥取」に向かうシャトルバスを運行いたします。約1.9km、交通渋滞などがなければ6分で到着します。ご利用ください。

なお、乗車の際には、全体会の受付時にお渡しした「**ネームホルダー(交流会参加証)**」を必ず提示してください。

### 全体会・交流会会場 MAP



### 分科会専用バス乗り場のご案内

「鳥取フコク生命駅前ビル」前でバスにお乗りいただけます

鳥取フコク生命駅前ビル前



鳥取駅南口へ



鳥取駅南口ロータリー駐車場を通過



「鳥取フコク生命駅前ビル」前(JR鳥取駅南口)にてお乗りいただきます

★ネームホルダー(分科会参加証)又は分科会から参加される場合は参加内容確認書を必ずご持参ください。乗車時に確認をさせていただきます。